



ROTARY BRINGS HOPE

ロータリーは 希望をもたらす



国際ロータリー会長 M. A. T. カパラス 第256地区ガバナー 藤田 説量 (三条)

会長 — 日戸 平太 幹事 — 上木 六治 SAA — 外山 雅也

例会日 毎週水曜日 12:30

例会場 三条市旭町2-5-10 三条信用金庫本店 (TEL 34-3311)

事務局 三条市旭町2-5-10 (TEL 35-3477)

出席率: 会員 67名中 48名 : 先々週出席率: 97.01% (前年同期 91.78%)

今日のお花:

ヴィジター: 京都西南より 山崎宗次郎君 加茂より 野本正次君

三条南より 橋本和雄君、相場三郎君、葦沢喜一郎君、永桶栄資君、田中康雄君

ゲスト: 経田 裕介殿

先週のメイクアップ: 8/28 三条ローターアクトへ 森井 司君、上木六治君

9/1 三条南へ 中川由春君、五十嵐総一君、熊倉昌平君、梨本清一君、中條耕二君、岩井和夫君

会長挨拶: 日戸会長

荒海や佐渡に横たふ天の川

芭蕉さんはこの一つ星、ひしゃく星をも仰ぎ見たかどうか? 佐渡ヶ島では北斗の七つ星をかぎ星と言った。囲炉裏にかかる自在鉤のかぎである。北前船の航路の鍵でもあった。南天のスターは南十字星。帆船はこれを道しるべに、喜望峰を目指し、これを回り北上した。

当クラブ拡大特別委員会は、南クラブと協力のもとに、北にも、希望をもたらすクラブをと活動して来ている。後で委員長の中條耕二さんから経過報告があります。会員の皆様のご協力を更に期待するものであります。

幹事報告： 上木幹事

- 1987. 6. 7～10日 ドイツ・ミュンヘン国際大会へのご案内
- 共同募金会三条支会委員会のご案内 9月9日(火) 午後1時30分より 市役所
- ロータリーの友英語版お買い上げのお願い
- 交通安全市民大会準備会議開催のご案内 9月9日(火) 午前10時より
三条市役所 2階会議室

ニコニコBOX ￥6,000



- 五十嵐(総)君 ニコニコBOX、協力して。
- 小林(英)君 ガバナー月信No.3が出来ました。小さい事でもお気付きの点がありましたらお教え下さい。次号からの参考にいたしますので。
- 大塩君 本日、手芸、コットンコーナーを新設オープンさせていただきました。
- 堀川君 青少年交換学生三条に来日。新潟地区としては新潟以外十日町と三条だけです。よろしくお願いします。
- 斎藤(弘)君 交換学生歓迎会、多数の御参加ありがとうございました。
- 加藤(紋)君 8月27日、交換学生歓迎会ありがとうございました。エイミーの花嫁姿はいかがでしたか？

委員会報告：

中條地区拡大委員長

ガバナー事務所からの指示で、栄RCをつくれとのことで鋭意努力をして参りましたが、これに就きましては延長戦ということで継続して参りたいと思っております。これで終わりかと思いましたが急遽三条で3番目のクラブを作る様にご指示を頂きました。

このことに就きまして、初代会長に御指導を頂き、三条北クラブの名称でよいのではなかろうかとの話で、現在仮称三条北RC設立ということで動いており、今の処20名近くになり、例会日は火曜日を予定しております。

どうぞこれからも皆様のご協力を頂かなければ第3のクラブが出来ないわけでありませぬ。見附RCの時と同様新設クラブは30名位でなければならないので皆様から会員の御推薦をお願いします。

卓話：

人に会う旅 経田 裕介殿



自分自身人生とは何だろうなーと考えると、学校で子供を教える参りまして23年経つわけですが、いろんな生徒子供それから父兄の方々或いは仲間の先生方に会って、結構生きるということは旅ではなかろうかという考えが自分の一つにあります。

「幕末の影武者」という本の主人公が寺泊出身の本間という初期の頃の勤王の志士なわけですが、寺泊の醤油屋に生まれまして東京を経て京都に出かけて行き、結局最後は京都で土佐の連中に29才位で殺されてしまうのですが、非常に新潟県の間人としては珍しい動き方をした。又当時天皇に直接会える人はこの人だけで、派手な姿で京都を歩いていたとこの小説に書いてあります。時代がずーと廻って来て、新潟の間人とはそういう処があるのかなあという感じ

もします。結局この本は主人公本間誠一郎の人生の旅で、途中切り合いがあったり女との出会いがあったりして、29才で終わってしまうということになるわけですが、こんど自分自身が人生を生きて来たことを考えまして、いろんな人と出会って特に私は英語を教えるものから、一度は外国に行って来たいと思っておったのですがなかなか行くチャンスに恵まれません。ところがアメリカの人と文通をしたり、もう一つは新潟大学に交換教授として来た先生が家族揃って来たものから、中学2年生と小学4年生の子供をつれて来まして、上の子を私の受持ちクラスに入れたのがきっかけで、その先生はもともとチェコスロバキヤの人で、1968年ソ連がチェコに改めて行った時アメリカへ留学をしていた方をたよってアメリカへ亡命された方ですが、一度アメリカへ遊びに来いと言われて、5年ぶりに約束を果たすためにアメリカに行きました。折角行くのですのでアメリカで文通をしていた方にも連絡をとりまして尋ねて歩こうというので大変安上りな旅が出来たのです。

私自身14年生まれです。戦後のアメリカの文化が流れ込んで来た影響を受けている訳ですので、アメリカを一度この目で確かめて見たいということもありましたし、又日本の歴史を考えて見ますと、中国だったり、或いは韓国だったり非常に外国の文化の影響を受けていると言いますか、それを栄養分として日本の国が育って来て、その時代時代に外国の影響を受け取り入れているのが日本人は巧みであると思えます。そういうことと我々自身が日本の文化を日本人の手で作って行くということと、外国との関係をこれからどういう風に持って行かなければならないか、又日本が高度成長時代には文化面でも何もかも、日本は日本でやって行ける、外国の物は余り取り入れる必要もないし、眼を向ける必要もないという様なことが文学の世界でもありましたが、最近では一寸反省されております。

日本が島国であるが故に、取らなければならない道といいますが、活ける道をどう風にして行ったら良いだろうかと言ったことがあります。そうしますとやはり旅に出て見なければ分らないという点がありますし、旅もどこかの温泉に行って仲間と遊んで来る物見遊山の非

常に楽しい旅もありますし、もう一つは人に出会ってくるという旅があると思います。

今日ここに私を呼んで頂いてお話が出来たということも、今迄全然知らなかった方と出会う事も、一種の精神的な旅ではないかと思います。

そういう意味で私自身は物見遊山の旅よりは、人に出会う旅が大好きなわけでありまして。その土地土地を歩いて土の音を聞いて見たり、木を見てみたり、或いは言葉を聞いて見たりしてそういうとき何とかして人に出会い、その人と一緒にコーヒーを飲んだり酒を呑んだり話が出来たら、これは本当にすばらしい旅になるのではないかという気がします。その事が只相手から話を聞くばかりでなくて、こちらの話もするわけですので、その意味でお互いが知り合っ
て気持ちをほぐして行けることによって、非常に人間として理解が出来、特に外国に行った場合或いは外国から来られた場合、一人一人が民間大使になれるのではないかという気がします。

旅の面白さというものは、ともかくいろんな土地で知らないもの、何とかして人と出会って行くという気持ちをもって動いて歩くと、随分面白くなるのではないかと思います。その意味で言葉を知らなければ、どうにもならないと言われますが、本当に身振り手振りで十分通じることもあります。人の心の内を話し合うとすると、どうしても言葉が必要となって参ります。これから益々外国語を一人でも話せ、少しでも使いこなせる様に旅を通していろいろな言葉の必要性というものを改めて感じました。

次 週 例 会 9月10日 卓話 三条郵便局長

次々 週 例 会 9月17日 ” 斎藤弘文会員
